



(1) 友のコトバ① 入学式(4/9) 在校生代表挨拶(3-7 高山 葵さん)

ところで、私が今大切にしている言葉に「点滴穿石」という言葉があります。点滴は一滴の水、穿石は石に穴をあけることを意味し、水滴も同じ位置から落ち続ければ、いずれ石に穴をあけることができるということを表しています。つまり、小さなことでも根気よく続ければ大きなことを成し遂げることができるという意味です。

どんなに苦しくても、勉強や部活動、学校生活の中で日々積み重ねていく努力は必ず夢を叶えるための糧となります。私自身も学校生活を送る中で満足いくような結果が中々得られず、途中で投げ出してしまうと思うことが何度もありました。そんな時は、この「点滴穿石」という言葉を思い出し、自分を奮い立たせています。

それに諫早高校には、支えてくれる友人や先生方がいます。努力を惜しまない友人の姿に励まされ、全力で応援してくださる先生方の存在に勇気づけられながら、私は夢を叶えるために諫早高校で学校生活を送っています。



高山さん(3-7)による代表挨拶



応援団によるエール

(2) 友のコトバ② 対面式(4/19) 在校生代表挨拶(3-2 加藤 輝くん)



対面式(みんなでウェーブ)



加藤 輝 君(3-3)による在校生代表挨拶

私たち諫高生は3年という短い時間の中で、自分の将来を具体的に描き、その志の実現のために努力しなくてははいけません。また歯を食いしばって困難に立ち向かわなければならないことも出てきます。…(中略)

生徒会ではクラスマッチの運営や文化祭などの行事ごとにせわしなく校内を駆け回り、修正に次ぐ修正、綿密な準備を繰り返し、それでも上手くいかないこともあります。部活ではなかなか上達できない自分との格闘、休日にも練習があり、正直しんどいなあと思うことも度々(たびたび)ありました。

しかし逆境に必死で抗ってこそ諫高生です。忙しく、苦しい時期を乗り越えたからこそ昔より強くなった今の自分がいるんだと確信しています。これはどれも欠かすことなく、校是(こうぜ)である『文武両道』、諫高道を極めたいという信念を貫いた証だと思います。

この学校には「高校生だからやるべきこと」、「高校生だからできること」、「諫高生にしかできないこと」がたくさんあると思います…(略)